

障害者スポーツの推進に向けた取組について

1 障害者スポーツの振興について

県では、滋賀県スポーツ推進条例第15条に基づき、障害者の社会参加を促進するため、スポーツ活動への参加の機会の提供、スポーツ活動を行う環境の整備、障害者の競技水準の向上等に取り組んでいる。

2 本県の取組の現状

(1) 県大会等の開催事業

障害のある方がスポーツを通じて体力の維持増進を図り、社会参加と相互交流を促進させるとともに、障害者に対する社会の理解と認識を深めることを目的として、滋賀県障害者スポーツ大会(個人競技6種目、団体競技4種目)および知的障害者(児)を対象としたスペシャルスポーツカーニバルを開催している。

県障害者スポーツ大会では、体験会として小学生の参加も募り、若年層の裾野拡大に取り組んでいる。

平成30年度 第56回滋賀県障害者スポーツ大会

	競技(参加対象)	開催日	会場	参加者数
個人競技	アーチェリー (身体障害者)	5月13日(日)	県立障害者福祉センターアリーナ	58人
	フライングディスク (身体・知的障害者)	6月3日(日)	水口スポーツの森陸上競技場	185人
	ボウリング (知的障害者)	7月29日(日)	ラピュタボウル彦根	荒天中止
	水泳 (身体・知的障害者)	8月26日(日)	県立障害者福祉センタープール	71人
	陸上 (身体・知的障害者)	9月30日(日)	布引運動公園陸上競技場	荒天中止
団体競技	卓球 (身体・知的・精神障害者)	11月4日(日)	草津市立総合体育館	189人
	バレーボール (精神障害者)	11月10日(土)	県立障害者福祉センターアリーナ	32人
	ソフトボール (知的障害者)	11月11日(日)	守山市民運動公園ソフトボール場	70人
	サッカー (知的障害者)	11月11日(日)	ビックレイク	57人
	バスケットボール (知的障害者)	11月11日(日)	守山市民体育館	76人

※参加者数は体験会参加者(小学生)を含む

平成30年度 第37回スペシャルスポーツカーニバル

大会名(参加対象)	開催日	会場	参加者数
スペシャルスポーツカーニバル (知的障害者)	7月7日(土)	長浜バイオ大学ドーム	荒天中止

参加者数の推移

年度	H29	H28	H27
参加者総数	1468人	1482人	1505人

(2) パラスポーツチャレンジプロジェクト

特別支援学校の体育施設を拠点とした障害者（児）の地域スポーツクラブ活動を通じ、団体競技種目のチーム育成を行っている。

また、大学と連携し、特別支援学校へ大学生等を指導者として派遣することで、児童・生徒のスポーツ振興を図っている。

①特別支援学校等活用事業

◇障害者（児）を対象とした軽スポーツ教室の実施

- ・三雲養護学校にて、年5回開催
- ・参加者は、各回20～30名

◇知的障害者を対象としたバレーボール教室の実施

- ・湖南省総合体育館にて、毎月2回開催
- ・全国障害者スポーツ大会に出場するチームの創出



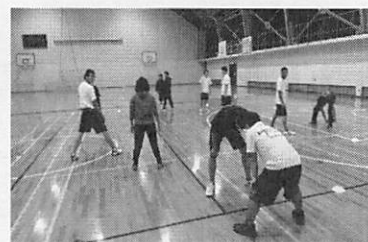
②大学連携事業

◇立命館大学（BKC）＋草津養護学校

- ・年1回、立命館大学での交流（施設見学等）
- ・週2回、草津養護学校へBKCバスケットボール部の学生を派遣

◇聖泉大学＋愛知高等養護学校

- ・月1回、愛知高等養護学校陸上部およびバスケットボール部へ学生を派遣



(3) 障害者スポーツ推進事業

障害のある方が、身近な地域でスポーツに親しむことができ、生涯スポーツとして継続的にスポーツ活動ができるように、県内の総合型地域スポーツクラブを核として障害者スポーツ推進事業を実施している。

障害者スポーツ推進事業の活動状況

	クラブ名	地域	取組開始年度	主な内容	H29年度実績		
					回数	障害者参加者数(延べ)	参加者数(全体)
1	NPO法人 こうかさすけくらぶ	甲賀市	H27	フライングディスク、ポッチャ	13回	72人	219人
2	NPO法人 レインボーくらぶ	甲賀市	H27	カローリング、リズムダンス	9回	155人	273人
3	高月総合型スポーツクラブ ビース	長浜市	H27	グラウンドゴルフ、ポッチャ	20回	20人	176人
4	ほぼんた倶楽部	甲賀市	H28	運動遊び、トランポリン	14回	150人	150人
5	NPO法人 TSC	高島市	H28	風船バレー	10回	100人	100人
6	きのもとeye's	長浜市	H28	卓球、バドミントン	18回	87人	87人
7	奥びわ湖スポーツクラブ	長浜市	H28	エアロビクス、カヤック	9回	50人	87人
8	NPO法人 能登川総合スポーツクラブ	東近江市	H29	ターゲットゲーム、輪投げ	12回	145人	1,304人
9	NPO法人 多賀やまびこクラブ	多賀町	H29	ニュースポーツ、バターゴルフ	7回	71人	78人

(4) 滋賀県障害者スポーツ協会による普及事業

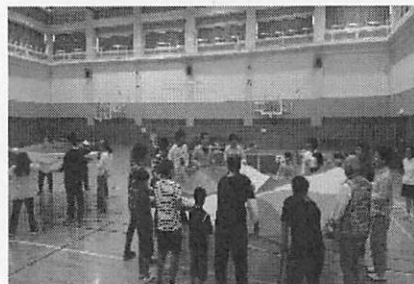
障害のある方が、身近な地域でスポーツ活動ができる機会をつくるため、協会のアドバイザーが地域に出向き、スポーツ広場や競技別チャレンジ教室を開催している。

①スポーツ広場の開催

気軽に楽しめる種目（ボッチャ・パラバレーン等）を中心にスポーツを体験できるスポーツ広場を年5回開催。

②競技別チャレンジスポーツ教室の開催

中学生以上を対象としている県大会や全国大会に参加する選手を育成するため、小学生を対象にスポーツ教室（卓球・陸上・水泳）を年3回開催。



3 課題と今後の取組

【課題】

○県障害者スポーツ大会等参加者数は、年々減少傾向にある。これは参加者の高齢化（個人競技参加者のうち60代以上の割合48.8%）、会場までの移手段の不足、障害者のスポーツ活動の場の不足が要因と考えられる。

【今後の取組】

- 若年層の参加者を増やすため、小中学生を対象とした「スポーツ広場」や「競技別チャレンジ教室」の活動拠点および回数を増やし、県障害者スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会への参加意欲を高める。
- 児童・生徒がスポーツに興味を持ち、スポーツを始めるきっかけづくりとなるよう、「しがスポーツ大使」に委嘱したパラアスリートを特別支援学校等に招聘し、アスリートと一緒にスポーツを楽しむ機会をつくる。
- パラスポーツチャレンジプロジェクトにおける大学との連携をより一層深め、多くの児童・生徒がスポーツに親しむ機会をつくる。
- 県障害者スポーツ大会等への参加者の移手段の確保等について、各市町の福祉部局と連携を図る。
- 障害のある方が、身近な地域でのスポーツ活動に参加できるよう、障害者スポーツに取り組む総合型地域スポーツクラブを増やすとともに、クラブの障害者スポーツに取り組む体制を整える。